

第2回新市庁舎整備に関する市民説明会（会議録要旨）

- 1 開催日時 令和5年11月11日（土） 10：30～12：30
- 2 開催場所 盛岡市総合プール2階研修室
- 3 出席者
 - (1) 市民 52名
 - (2) 事務局
内館盛岡市長、佐藤総務部長、遠藤新市庁舎整備室長、齋藤都市計画課長
- 4 説明会の会議録要旨 次のとおり

【司会】

皆さん、本日はお越しいただきまして、ありがとうございます。ただいまから新庁舎整備に関する市民説明会を始めさせていただきます。私は本日進行を務めさせていただきます盛岡市総務部管財課の早坂と申します。どうぞよろしくお願いいたします。それでは初めに内館盛岡市長からご挨拶を申し上げます。

【内館市長】

皆さんおはようございます。今日もたくさんの皆さんにお集まりいただきまして、本当に感謝いたします。説明会を企画したものの、市民の皆さんが集まってくれなかったらどうしようかなと思っていましたけれども、こんなにたくさん、前回もチラシと、マスコミの皆さんがフォローしてくれたので、どのくらい来るかなと思っていましたら、前回も100人くらい来ていただきました。まずは来ていただいたことに心から感謝をいたします。皆さん、盛岡は好きですか。僕は大好きですよ。もちろんです。若いころは分からなかったことがありますが、社会に出て、働いて、盛岡にいて、とにかく盛岡が大好きです。そして、盛岡市長として、今2か月ちょっとが経ちました。改めて盛岡の歴史や伝統や文化や、皆さんと触れ合ってみて本当に先輩方は素晴らしい盛岡をつくってきていただいた。心から私は先輩方に感謝しています。今度は次の子供たちの世代のために、この盛岡市役所をどこの位置にということを含めて、つくっていくかというのは、今後50年後100年の子供たちの将来のために、今、私たちの大きなメッセージとなることだと思います。皆さんと一緒に決めていきたいと思っております。

少しだけ話をします。50年前60年前ともまた違って、人口減少、経済的にも厳しくなっているだろう、そういう時代になってきました。昔盛岡は、今から50年前60年前の先輩方は、人口50万人の盛岡にしようという夢を立てて、その時からこんな盛岡を作っていけばいいなということを考えていきました。普通は、まちというのは、どこか中心があって、だんだん大きく丸くなっていきます。そういうのが普通のまちづくりだと思います。ところが盛岡の場合は、岩山とか山があって北のほうは東北農地があって、点で大きくなるのではなく軸の形で盛岡は伸びてきた、

そんな歴史があります。中心市街地も、どこかが中心であったほうが盛岡は交通公共機関が便利。盛岡の場合は、北から人が集まって、汽車で人がいっぱい集まる。バスセンターには南から人が集まる。今の私たちは、2キロ歩くのは大変ですが、昔の人たちは歩いたんですよ。それで地域の商店街が発展してきた。ニューヨークタイムスが盛岡がよいと言ったのは、あそこのがよいと言っているんですよ。駅から河南のところまで歩いて楽しんで、そして市民が守ってきた盛岡だけの店がある。そういうことをニューヨークタイムスは言ってきたんですよ。

そしてもう一つ考えなければいけないのが、歴史です。昭和30年代の初めです。盛岡の人だけではなく、日本の建築のとても優秀な頭脳の方々が、日本で初めて当時は役所をはじめ、どの街もバラバラにあったんですね。盛岡で一団地構想という計画があり、役所は近いほうがよいということで盛岡の内丸は第一号の実験的なつくりの街でした。そういったいろんな歴史があります。それを踏まえ、人口50万人を目指していた盛岡が24万人になっていくだろう、50年後60年後の子供たちのために、私も含め、皆さんと一緒に考えてく、そのために説明会を開きたいと思います。今日はできるだけ多くの皆さんにお話をお聞きしたい。時間の限りはありますが、この部屋の方全員の御意見を聞きたいですが、それは無理かもしれません。嫌な人はパスでもいいです。マイクを回しますので、30秒くらいずつ夢でも文句でもよいです。思っていることを話していただければ。時間が余れば、話したい方に話していただければ。夢、文句、嫌なこと、こうしてほしいと一言ずつでもいただければと思いながら進めたいと思います。どうぞ今日はよろしく願いいたします。

【司会】

それでは早速説明に移らせていただきたいと思います。市長が申し上げましたとおり、本日は大体40分くらいの説明ですけれども、その後は皆さんにお話ししたいと思います。前の方からマイクを順に回したいと思いますので、どうぞ御遠慮なさらずにお願いできればと思います。それでは早速説明に入ります。説明は盛岡市総務部管財課新庁舎整備室長の遠藤から御説明申し上げます。よろしく願いいたします。

【遠藤室長】

(別添資料により説明)

【内館市長】

それでは時間が限られておりますが、意見に合っている、間違っているはありませんので、思ったことをよろしく願いいたします。

【司会】

それでは、前の方からマイクを順次回していただきます。今日は50名程の方がいらっしゃっております。お一人30秒を目途でお願いいたします。

【市民1】

2点簡単に話します。都南村との合併の30年前の協定について、やはり守っていただきたいと

思います。これを反故されると、我々は何を信じて、行政を信じていかなければいけないのか、これが疑問です。どうしても無理なのであれば、すみませんでしたと市の方で市民に説明をしていただきたいと思います。あと、ここに新市庁舎構想検討会議の報告書がありますけれど、内丸エリアにしても、盛岡駅西エリアにしても、盛岡南エリアにしても、180億とか200億とかかかるわけで、これは本当にかけるべきでしょうか。200億、市役所にこんなにかける必要はないと思います。極端な話を言えば、プレハブでもいいと思うんですよ。要は建てばいいだけの話であり、立派にする必要はないと思います。色々検討していただきたいと思います。

【市民2】

先程説明をお聞きしてまして、非常に小さいコップの中の話をしているんじゃないかなと思いました。今言ったように、盛岡市、日本、世界がどの状況にあるのかという認識もなく、いきなり次の市役所をどこに建てますか、という話ではないと思います。3つの大きな問題があると思います。1つ目はやはり新型コロナウイルスの問題、それからWHOのパンデミック条約世界保健規則の改正をしようと言っています。これができるしまえば日本や各国の主権は無くなり、勝手にパンデミックを作り出して、有害なワクチンを打たせて人口削減して、止めどもない財源をWHOに出させられるという、そういう危惧を持っている人たちもいます。

それから二つ目は通貨の問題です。今日本銀行が580兆円の日本国債を持っていますけれども、長期金利10年国債が長期1%になれば、日銀は破綻して紙くずになるのではないかという懸念をしている人たちもいます。それは近い将来だという話もあります。

三つ目は国民もほとんど知らないところでNHKも放送しないところで、国会で憲法改正の議論が憲法審査会で進められています。基本的人権をなくする軍隊を持つ、憲法最高法規でなくて、緊急事態条項を持って作って独裁が可能になる。こういう話が一方であるときに、いきなり3つの場所を持ってきて、内丸ですかどこですか、その話を今すべきなのかどうかすら私は正直疑問です。

それから10月21日の岩手日報に7割の市議は内丸希望とありますけれども、住民説明会をやる前、そして審議会の答申も出る前に、こういう案件としてこういう回答をするというのが一体どういう意味を持つんでしょうか。市議の腹は決まっている、内丸だと。それから総務部長に言いたいんですけど、公共施設と総合管理計画の話が一切ありません。市全体の公共施設の全体の中で市庁舎もどういうふうになるのかというのを言わなかったら、騙していると思います。無理なことをやれば、待っているのは増税です。固定資産税、介護保険料、国民健康保険税、水道料そうですね。長くなってしまいました。よろしくお願いします。

【市民3】

皆さんにお伺いしたいんですけど、ズバリ内丸がいいと思っている方手を挙げていただきたい。それしかないんですか。正直にこれしかない。内丸がよいと言っている方は多分歩いて、自転車、バスで来れるという人たち、この人たちのためだけに小さい市役所が街中に残っちゃえばい

いと思うんですよ。コンビニみたいな小さい。駐車場いらないから、どうですか。例えばななっくの。今壊して建て直しているけれど、あの1階に小さい市役所があればみんな便利だと思うんですよ。なぜかと言うとバスで来れるから。バスセンターから。山岸も松園の人たちも、みんなバスセンターには来れるんですよ。免許返納したって来れるんですよ。何かこれを見てると、1か所に集約するって発想なんですけど、分散っていうのもあるんじゃないかなと思うんですよ。

【市民4】

エリアに関してなんですけれども、仮に市丸エリアが厳しい、難しいということであれば、東新庄1丁目の市営球場の跡地が私は最適地だと思っております。市有地で取得費用がかからない、2.3ヘクタールという広い敷地。ハザードマップにある内水氾濫の浸水区域外、市街地に近く、市街地の活性化も見込める敷地が広いため、低層型の建物が可能で感染対策もしやすくなる。加えて、職員の方の自家用車出勤も可能になることも考えられるのかなというふうに思います。内丸が厳しいということであれば、現実的であり将来の盛岡のためになると私は確信いたしております。

【市民5】

皆さんの御意見を聞く前に、私の認識不足かもしれませんが、もっと説明の方はしっかりやってくれるのかなと思って来たんですよ。はしょったやり方だったんで、私分からなくて、何とコメントしていいのかわかりません。しかしながら、今、世の中、非常に経済的にも人口密度に関しても変わっておりますので、あまり急ぐこともないです。ただし、足きりはきちっと捉え、新しい内館市長の意見も十分に尊重していただいて、また新しい市議会の人たち、そして住民の人たちの意見も聞いていただいて、今予算は何十億かかるということだったんですけれども、それはそれとして、非常にしっかりと検討していきながら結論を出していただければ結構じゃないかと思えます。私は次の玉山、それから都南支所の説明会も来てみたいと思えます。それまで勉強して、少しでもまた深く理解できるように頑張りたいと思えますのでよろしくお願いします。

【市民6】

機会をいただきましてありがとうございます。まず私が思うには、まず市議会議員の綱引きで場所を決めるべきではない。まず思うのは、昭和45年に盛南開発構想が始まったわけですが、このときの中身というのが、やはり市内の交通渋滞の緩和、それから行政の利便性、これを主の目標にして、都心構造というのがスタートしましたね。それで市では、内丸地域が廃れては困るということで、中心市街地活性化法と、この法律を利用しまして、国や金融で手厚い資金援助を受け、例えば肴町のアーケードの補修、それから道路の融雪等、かなりのお金を使って、中心市街地が廃れないように努力してきた。今もって考えると、盛南開発というのは何だったのかと、その開発構想自体が、新構想で拠点と位置付けて、いわゆる盛南地区を将来の市役所最適地候補として進んできました。もちろん都南村の人たちも合併、盛南開発に伴って、市役所が来るんだろうということで積極的に農地を手放して宅地化を進めてきた。前の人も言いましたが、都南の

人たちが喜んで市役所はこっちの方に来るということで協力してきたのは何だったんだろう。いわゆる行政の約束するものが信頼性はないんじゃないかと。これは住民と市役所の信頼関係なわけですね。いまさら振出しに戻ってどこにしましょうという話はないんじゃないかな。まず市役所移転予定地は、2006年これだけは市立病院の北側、5.2ヘクタールですね、保留地は66億円だったんですよ。乗り切れなかった谷藤市長は結果的に耐震工事をして、この場を逃れた格好なんですけども、いわゆる前から国土利用計画法等ですね、法律もできまして、このときの値段から考えると、土地も結構下がっています。ですから、例えば今だってそちらが高いとか、中心市街地が活性化が失われるとか、そういう話はないんじゃないかと。まず一番先に都南や本宮地区の住民の信頼と、それから役所が信頼関係を損なわないように、当初の予定通り進めていただきたいと思います。私の簡単な意見です。

【市民7】

私は、この盛南エリアに熊さんがありますけども、そこの北側の方に70年くらい、何を言いたいかというと、この三つの中から一つが必ず決まる。一番適地なところは、この盛南エリアの中に建てるのが一番だ。雫石川に北上川、それから中津川この3つがありますが、全部、橋がかかっているわけですよ。町の方からもこっちからもどンドン人とか車が動ける。駅も近いし、市立病院もあるし、文教施設もたくさん。スポーツ施設もあるし、ここに建てるのが一番。駐車場のスペースも共有して車を止めるスペースエリアたくさんあるので、そういうところをまず一番最初に見ると。内丸エリアは、恐らく医大の土地を壊して造れます。なぜ医大に持っていく必要があるのかと私は思う。そういうところで今一度、3つのエリアから1つに決まるわけですけども、この盛南エリア。先ほど一番最初の方が、都南村と合併するときの協定書の中に盛南エリアを最有力と、議事録みたいなものがある。それを反故にした訳を言わなければいけない。きちんとそのへんを今後こういった会をまた開くと思いますけれども、説明をするというのが一番だと思います。ちょっと話長くなるけど、ここの盛南エリアをいの一に加えてほしい。以上です。

【市民8】

私も今の方と一緒に、ここの地区に住んでいます。私も盛岡市が57年住んでいて大好きです。でも盛岡市の行政が大嫌いです。父と母が持っていたこの田んぼを盛南地区に市役所が来るということで手放しました。ところがもう10何年前にここに来なくなって、やっぱり最初の方と同じで、昔の約束を反故にするべきではないと思います。あとは、去年か一昨年の有識者会議で、たしか盛南地区が一番安いというニュース発表があったはずですよ。今財政のことが真っ先に出ていますけれど、やっぱり財政が最も大事で、そんな一番高いところに市役所を持っていくべきではないと思う。以上です。

【市民9】

私は、太田の市立高校の辺りなんですけれど、もしお金がないというのであれば、うちの田も全部寄付しますので。谷藤市長さんの選挙活動の中で、私もちょっと聞いたんですけども、盛岡

市民にとって一番よいところを私は選びたいと、それを信用しています。昔、今の市役所を建てたときに、ヤクルトスワローズの球団社長や盛岡の弁護士、いろいろ最低賃金委員会の会長から話を聞きましたが、今の市役所は経済界で、あそこに建てるべきではないと。あそこに建てたら行き止まりになって、仙台より 10 年遅れるぞと、あそこに、道路バイパスにドーンと建ったら、もう今はニューヨーク並みになるっていう。その時に当時の市長は反対にもかかわらず強行で建てた建物だよと、欠陥市役所だよと。それで今壊してもあそこに橋は建てられない。50 年後に本当にここに建ててよかったな、という所を選んでいただきたいなと。そして松本市の松本市長が市長会、市役所改革の本に書いていますけど、市役所という字ですね。あれはどういう意味かというと市民のために役に立つところ、これが市役所だということで市長は市民に一番よいところを選びたいと言っていました。市長の谷藤前市長は辞めるときに花束をもらってから、内丸に建てて欲しいと言ったんですけど、ああいう圧力には負けないで自分の意見を支持していただきたいと思っています。あと一つお願いしたいのは、私の友人が畑を作って子供食堂に持つために野菜をやっているんですけど、市役所の地下に食堂がありますよね。できればまた食堂ができると思うんですけども、その隣あたりに、子供食堂でも作って、週に 1～2 回子供も来やすい場所というのも選定の中に入れていただきたい。お願いします。ありがとうございます。

【市民 10】

まず、市の方で示された新しい庁舎に求めるものは、よくまとめられていると思いますね。素晴らしいなと思っていました。私の方から意見ですが、まず用地についてはあまりお金をかけないということです。これからおそらく人口減少になるので土地が余っていくと思う。新たに取得しても、どんどんどんどん余るというか活用されないところが増えていくんだろうと思っています。あとまちづくりというのは大変大事だと思います。私おそらくここにいる皆さんとあまり地域には利害関係がないので、勝手なことを言わせていただければ、いわゆる人口減少社会、どんどん衰退していくので、盛岡は北東北の拠点にふさわしい視点で、こうやっていかないと駄目なんじゃないかと思っています。そういう意味でどこのエリアになっても私は困らないのでそんな視点で、場所を選んでいただきたいな。あとはこれから 50 年考えたときに、空飛ぶ車ドローンですか。来ると思うんです。全容が見えないので何とも言えないんですけども、そこに対応できるようなスペースを考えながら造っていただければなと、こんなふうに思っています。以上です。

【市民 11】

私は天神町に住んでおりますので、内丸が近くでいいなと思いますけれど、今お話を伺って、こういう経緯を市民が知らないんですね。都南村との合併の話とか、その中身の詳しいことまでも全然存じ上げませんでしたので、その場所が云々かんぬんと言うのは、ちょっとこっちに置いておいて、本当に盛岡市の財政が今困窮しているのは皆さん御存知だと思うんですけど。先ほどもちょっとお話ありましたが、市役所はただちょこっとできればいいっていう小さな市役所か、もしくはものすごく大きいものを作って商売をする。だから本当に 40 階建てぐらいの市庁舎

を造って、そしてマンションに貸したり、それから商売をして、とにかく市役所が儲けること、市役所のお金を作ること、そういうことを建物からやるような、その建物が建てられるような場所の選定。だから場所ありきで何かを作ろうじゃなくて、どうやったらお金が入るだろうかという、どちらかと言うと逆の発想でとにかくお金をかけずにお金が入る、そういうふうな状況を考えてそれをどこに建てたらいいのか、というのでもいいのではないかなと。それから老朽化老朽化と言っているんですけど、耐震工事をしたので実はあと 20 年ぐらい持つんだそうですね、市役所は。ということを伺ったものですから、こんな慌てないでゆっくりみんなの意見を吸い上げて、そして本当にいいものを 50 年 100 年持つ素敵な盛岡を支える市役所を造っていただきたいなと思います。よろしくお願いします。

【市民 12】

さっき市長は 50 万構想をお話されましたけれども、当時都市計画が決まったのが昭和 45 年。工藤市長がですね、北東北の拠点ということで、この盛南地区を開発しようということでスタートしてきました。それに賛同して私は議員を 8 期やってきました。都南の合併の時も担当しましたので、都南にも滝沢にも合併しましょうと言いましたし、そういう経過があって今があるんですね。盛南に夢という UR の冊子があります。皆さんが作ったのでは、盛岡南新都市の開発事業の関係資料、これは平成 5 年 3 月に作った資料です。私がもらったのは 18 年でした。みなさんはこれを読んでいるのか。構想から含めても長い年月をかけて今もまだ騒いでいる。どこに盛岡の起点を置くかということですよ。最初は副都心だった。でも盛岡市民が怒るということで、副都心ではなく軸上都心にしようと、それは何かというと、盛岡駅の広規模を売り出そうと、それを盛岡市が買うと、そこに余計なものを全部移すと、今の市役所周辺を再開発したいと、もし古くなったらまた内丸に戻ってもよいだろうと、そういう話もあった。そういう中で今の盛南開発ができてきたんです。先人の知恵を学べば、どこがよいか。盛南は交通の便が悪いとか、そんなことはない。悪いならよくすればよい。高いから駄目ではなく、どこが適切かということだ。水に関しては 4 つもダムができた。四十四田ダム、綱取、4 つも作って水害は心配なくてよい。火山も大学教授に言わせれば溶岩が流れても雫石川に止められる、今の市街地のところは大丈夫だという話です。そういうことで、こういう冊子を見て勉強すれば、どこがよいかという話ではなく、八百屋に言って物を買うのとは違う。そういうことも参考にしないで、どこがよいでしょうかって、人が変わるたびに盛岡が変わるのでは困るんです。行政は一本道でなければ駄目。市長が変わったから変わるという話ではないはずだ。

【市民 13】

市庁舎は、私的には内丸に新しい庁舎を建ててほしい。規模的に足りないのであれば、都南との関係があるから、都南分庁舎を造り、大きくスペースを造り、大きな駐車場を造り車で行ける方はそちらへ、盛岡市を愛する方々は市役所に来て盛岡市を回ってほしい、というのが私の意見です。その他に関しては、今回の市長さんはいろんな意見を聞くため、投書箱を作ってもらえる

みたいだから、それに投稿するような形でやらせていただければと思います。

【市民 14】

二つだけお話ししたいと思います。まずはお金をかけないっていうことが一番大事だと思います。先ほどからお話を伺っていて、2点というか、旧市営球場ですか。私場所も分からないんですけど、その跡地という御意見がありましたけど。それ、とってもいいなというのが一つ。それからもう一つは儲ける。市役所の建物で儲ける。今まで公共施設では儲けないというのが基本だったと思うんですが、これからは人口減少、税収減なので、何とか儲けるという発想でやっていただけたらと思います。

【市民 15】

うちは車を持っていません。バスもすごく不便になりました。減便減便で、これからだんだん年を取っていきますので、とにかく自分の足や、バスに乗って行ける市役所で用を足したいなと思っているので、そういう所をお願いしたいと思います。それと、さっきプレハブでもよいという話が出ましたが、これから将来子供たちが大きくなって市役所にプレハブでは勤めたくないのかなってちょっと思いました。

【市民 16】

こういう機会を作っていただいて本当にありがとうございます。非常によいアイデアだと思います。また、市役所は内丸にしてもらいたいという意見です。それは、デジタルの時代ですけれども、やはりコミュニケーションですね、行政を進める上で県庁所在地、県庁と近い所にあるべきではないかと考えております。ただ、色々知らないことがありました。都南村の構想とか初めて知ったこともありますので、そういうことも今日初めて知りましたが、それを考えてもやっぱり内丸であればいいなというふうに思っております。

【市民 17】

このような機会に参加できて大変勉強になりました。いろんな分からないことがあったんですけども、この機会にまたさらに勉強していきたいと思います。私も内丸界限に設置してもらいたいと思います。賑わいとか、まちづくりとか、人と人の繋がりという3点から考えると、やはり現在の内丸市庁舎を強く希望します。というのは、盛南開発で二大、大きなショッピングセンターができて、人の流れが完全に向こうに来ました。今の肴町それから菜園、特に川徳は平日は閑散としております。向こうの二大ショッピングセンターは平日にも関わらず、駐車場が満杯です。そういう点からしたらやっぱり人の流れというのは平均化すべきだと思います。歴史のある盛岡です。今の内丸界限、肴町鉦屋町、菜園というところにやはり人の流れを多く持っていくべきだと思います。そして盛岡の街をこよなく愛する私としては、内館市長さんにぜひ内丸界限に市庁舎を設置して、専門委員会の方々のこれからの英知に強く希望し、内丸市庁舎に設置していただきたいなと思います。以上です。

【市民 18】

私、前の前の方と同じなんです、過去に盛岡市役所の担当者が自宅に来まして、市立病院の辺りに市役所が来るので、何とか農地を明け渡してくれと、いう経緯がありまして、先代を口説いて市役所が来るからしょうがないんだということで、印鑑を押した経緯があります。なので、ぜひぜひ100%守れとは言いませんが、何とかこの約束を守っていただきたいかなと思います。それと、それともう一つ、内丸地区、西口地区がありますが、現市長さんには固定概念に囚われず、ぜひいろいろな意見を集約して決めてもらえたらなと思います。以上です。

【市民 19】

皆さんの御意見を聞いていると、全て納得してしまっていて、自分は何を、とって考えてきたんですが、ちょっと視点を変えまして。私は市役所は南の方ではない方がいいんじゃないか、と思います。というのは医大が向こうに移られたということで、大体のところは球場とかもそちらの側にシフトしてしまい、北の方が殺風景ですごく寂しい状況になってしまったので、やはり南でない方がいいかなと。あと、アクセスの方は別にどこに建とうが、先ほどおっしゃったように行政の方でそういうソフト面というか、そういったものはどうにでもなるんじゃないかと思うので、そういうことです。あとは、ちょっと視点を変えさせていただきたいんですけど、私は福祉のまち盛岡っていうのをすごく切望しております。私達はいつどんな状況に置かれるか、どんな生涯になるかというのが、やはり皆無、未知の世界で生きています。明日にでも倒れたときに、福祉の世話になることは、とても必要になってありがたいのです。今こちらにいらっしゃる方は、あまり支援を受けておられないと思うんですけど、やはりそういう立場になったときにものすごく感じるので、福祉のまち盛岡というのも、大きくビジョンであげていただきたいなと思っております。以上です。

【市民 20】

内丸というのはよろしいんでしょうけれど、どなたかも言うておられましたが、小さな支所というのもありかなと思います。あとは財政ですね。それから、やっぱり私は今自分の車で動かないきゃいけませんので、駐車場、広い敷地が必要じゃないかなと思いました。よろしくお願ひします。

【市民 21】

私は本宮生まれの本宮育ちで、この原敬記念館のある本宮が好きで、結婚してから家を建てる時も本宮を選んで住んでいます。でも子供はどうも郷土愛が育たなく、本宮小学校で原敬の宝積活動をしてきたはずですが、今度大学進学しますが、県外に出て行って、おそらく戻ってこない予定です。まずここで人口が1人減るわけです。こういう説明会には若い人はまず来ないんですけども、市庁舎をどこに移転するかということは、まちづくりの姿勢が最もよく表れると思いますので、将来を担う若い人たちのことも考えてご決断をお願いしたいと思います。以上です。

【市民 22】

私は都南村との関係のときに協定があったと記憶しておりまして、今日レジュメをいただいて

平成4年だったんだなと思っていました。一番人間として大事なのは、約束を守るということ。まして何年か前に盛南開発のときに、中央病院の付近に市役所という話を聞いた記憶があるんですが、そうやって田を手放したという人もいますので、そういうのも人と人との約束だと思いたすので。それを行政が守らなかつたら、どこに正義があるのかということだと思いたす。あと、個人的にもし順番をつければ、1番が盛南地区、2番が盛岡駅近辺、3番目に内丸だと思いたす。以上です。

【司会】

皆様大変恐れ入ります。残り15分ですので、皆様に一言ずついただきたいと思いたすので、そのまま質疑などは続けたいと思いたすが、御協力お願いいたします。

【市民23】

簡単に伺いたす。エリアが3つあるようすけども、そこに対しての、庁舎に対してのお金が資料に出ているんですが、それに付随する整備が伴うと思いたすんですが、それらについても金額は資料にはいらなないと思いたすが、このような整備が必要になるんじやないかと思いたす。あと、子供とか老人がこれから自由にといつか、楽に行けるように電車とか目的地に行くアプリがあつて、こことここへ行きたいと言ったときにこの道を通りなさいとかつていうアプリがよくあるんですが、それと同じように、バスのアプリでここから市役所に行きたいよと言えば、何時何分のバス停に行き。乗り換えが必要だつたら、何時何分の次のバス停で乗り換えができるよ、というようなそういうアプリをぜひ造つていただければ、それを利用させていただきたいと思いたす。

【市民24】

私は、都南村合併のときの協定は全然知らなかつたので、今日お話を伺つてそれが一番驚きました。私は仁王地区に住んでいますが、こちらの盛南地区の方に商店、魅力あるお店とか、大きな商業施設が移つてきてしまつて、盛岡市北部は全然もう寂れてきてしまつている感じがして、内丸に市役所があつてほしいなと思いたすんですけども、今のお話聞いて盛南地区でもいいのかなという気持ちがあるんですが、私の住んでるところからこつちまで行くのはすごく不便です。バスも通つていない。車や歩いて行ける人ばかりではないので、バスや徒歩、自転車で動かなきゃならなないんですけども、そうするとこつちまで来るのに駅の方まで行つて、自転車、徒歩だと旭橋をくぐつて、フェザンまで出て、戻つて陸橋を渡らなければならなないので、ちょっと不便。そのへんの利便性を考えると、バスも乗り換えをしなないと来れないので、そう考えると内丸の方がいいかなと思いたす。以上です。

【市民25】

私は、39年間盛岡を離れていまして、7年半ほど前に戻つてきました。いろんなところが発展して、またいろんなところが寂れているのを実感してありますが、私は免許は持っていますが、こちらに戻つてくるときに車を手放しまして、交通手段は今日も自転車です。あとは徒歩バスを利用していろんなところを歩いていくと。内丸、盛南、その他いろいろと候補が挙がつているよ

うですが、どこをとってもやっぱり交通が関わってくると。その利便性を考えるしかないんですが、県交通あるいは県北バスの代表と協議をしていくんでしょうけれども、いわゆる通いやすい、来やすい、そういうところをまず考えるしかないのかなど。あとはやはりいろいろ皆さんのお話を伺っていますが、お金の部分。ますます人口が減っていく中で、どうなっていくんだろうっていうようなところも思いはあります。大変でしょうけれどもよろしくお願ひいたします。

【市民 26】

いろいろお話がでたわけですが、やはり 50 年 100 年先を見据えたときに、理想の都市を作ると。国際都市です。ILC や飛行機みたいなタクシーですね。空飛ぶタクシーとかですね、それもそういう用地も必要になってくるわけですね。ですからやはり、人口密度ですね、マトリックス方式で比較してみてもいいと思いますよ。ただ良い悪いの 3 候補どうこうじゃなくて、ここの地域はあと 50 年後、100 年後に、こういう人口でこういうふうになるよと。内丸も山岸も高齢化で人がいなくなってくるわけですよ。ここよりひどくなるし、ぜひマトリックスで資料を作って検討してみてもいいと思います。それから区画整理事業で私も対象になったわけですけど、田や畑を取られたんですよ。現金で取られるんですよ、清算金として。それが今の町並みとなっているんですね。大きな道路の。パチンコ屋や関係の無い企業ができていくわけですよ。目的がはっきりすれば、市役所がここにすれば清算金とか土地を売った買ったの話が生きてくるわけですよ。先ほども話をしましたが、やはり 50 年 100 年先を見たときに、説明会もよいですが、20 歳 30 歳の方を集めて 50 年先の意見を聞いていただいた方がよいと思います。

【市民 27】

結論的に言いますと、私は盛南地区に市役所を建てるべきだと考えております。理由は盛南地区の開発は広大な都南村の開発の際に主要行政区域という場所として、一帯を指定して、それに賛同して盛南開発に投与し、そのとおり実施されておるわけでございます。そんなことで都南村の方々との約束あり、また内丸地区の狭い場所では、広い場所にある、雫石川を挟んで中心市街地とも近い場所にありますので、全地区主要行政区域である盛南地区にするべきであるというふうに考えております。よろしくお願ひします。

【市民 28】

本日はどうもありがとうございます。私は今日説明会があるということで、事前に何点か質問事項を書いてきましたけども、時間がないということで。今月の 11 月 28 日ですね。お城を中心としたまちづくり計画ですが、これが平成 21 年に策定してございますけども、この内容を見ると「盛岡城を中心としたまちづくり」ですけども、今回のですね、市役所を移転するか内丸に造るか関係なく、中津川の景観を考慮したまちづくりを、お城を中心としたまちづくりの計画と一体化して紺屋町、鉾屋町も含めた中津川を利用した市役所の移転に合わせ、ぜひ市長のリーダーシップでお願いしたい。先ほど内丸が云々とあちこち話しておりますけれども、この 3 エリアを比較検討するにあたって、必ずしもお金で決めるのかっていう話ですね。やっぱり 50 年、何十年先

の盛岡市ということを考えたら、必ずしもお金じゃなくて、委員会等いろんなメリットをデメリットを検討して、ぜひ場所を決めていきたい。あと市役所が移転した場合、人の流れが変わるわけですよね。その場合、内丸地区の地元の経済にどのような影響を与えるか。今ななっくの跡にモナコを作る、そういう計画の中で、市街化中心の人口が減ると、非常にこれはデメリットじゃないかと思います。あと市役所の設計にあたってはですね、市役所の外観の景観設計の方にぜひお願いしたいということでございます。以上でございます。よろしくお願いいたします。

【市民 29】

端的に申し上げます。実は私も高校を卒業してから県外に出まして、昨年 46 年ぶりに帰ってきて、今勉強しているところです。今日も勉強させていただきに参りました。市庁舎の整備についてなんですけれども、やはり将来、どうしてもやっぱり広域観光地を中心にいろんな事務所なんかも作られますし、まちの発展にすごく影響すると思います。内丸地区はいろんな観光地が集中しております。今までもそこを中心に発展してきたと思います。要するに将来盛岡市をどのように作っていったらいいんだらうかという、まちづくりのポリシーがまず大事なんだらうと思います。内丸地区を核として中心に盛り上げていくのか、あるいは全般的に発展させるのかっていう人口動態にも影響すると思います。インフラを作る、そのサービスの効率的な動きと、人口の動きが一番大きいと思いますけども、国の方でも地方創生というのはいろんな庁舎を地域に分散するという動きが一時ありましたけど、なかなかそれも難しいようであります。というのはやはりいろんな行政をする上では、業績が近くないと、なかなかうまく連携が取れない部分もあって、このへんをどう持っていくかということだらうと思います。提案としましては、全国のいろんな市庁舎でも新しく作ってるところがいろいろ多々あると思います。そこは従来通り中心地なのか、新たに別なところを選んだときにどう発展が違っているのか、そのような例も参考にしていただいて、選択の一つにさせていただきたいというふうに思います。できるだけ国の助成制度を、もしないのであれば、国会議員を通じて働きかけていただいて、政府も大いに活用していただければと思います。以上です。

【市民 30】

市民と市役所の繋がりというのは、ゆりかごから墓場まで、本当にその一市民の一生涯と深く関わっていると思います。その点と点だけが繋がっているのではなく、点と点を結ぶ生涯の線の全てが市役所との関わりの中に私はあると思います。シンボルとして市役所がどうあるか、まちづくりをどうするか、まちづくりの原点って何だらう。まちづくりの原点は人づくりだと思います。人づくりの中で人がどうやって生きてくか、その人の中の原風景に何が残っているのか、その原風景の中に市役所。自然に囲まれた市役所というものが残ってほしいな、と私は願っております。

【市民 31】

質疑応答ではないということで、意見だけ何点かお話をさせていただきたいんですけども、いず

れにしてもどの場所になろうとも、市長がエリアを決定するというお話がありましたけども、その際には記者会見だとか様々な方法で発表されると思いますけども。ぜひ、覚悟を決めて、こういう報告会で、私はこういう考えでここにしたいということは皆さんに直接お話していただきたいと思います。あと、財源の話を書多くの方がおっしゃっていますけれども、審議会のメンバーを見ていると、地方財政に詳しい方がいるとはとても思えないので、一層の精査は当然市役所がして、どういう交付金が見えるのか、どういうふうな財源を使えば市の持ち出しが少ないか、それは市役所がやるべきことで審議会が検討するようなお話ではないと思います。それは細かく財政の方で計算をして、こういうことであれば、こういう国のお金が見える。こういうことで市の負担は少なくなる。それは市役所が責任持ってやるべきことで、審議会委員のメンバーの方では無理だと思います。それは市役所がやるべきことと考えていただきたいと思います。

今回、第1回目とやり方が違うのは結構ですけども、基本的に前回はそうですけども、明日も明後日もあると思いますけど、こういうことでどういう発言があったかというのをきちんと記録に残して、公開してほしいと思います。そうでないと、早い話が言いつばなしで、結局どうなったのってということになりますから。皆が分かるように、みんなが来れるわけじゃないし、前回のようにならぬ午後ということになると、来れる方来れない方がありますので。本来こういうのは多数の方がお休みと思われるような、来れると思われるような夜にやるとか、休日にやるとかそういう配慮は行政として必要だと思います。あと、あと一点だけ。耐震補強して20年ぐらい持つと聞いておりますが、平成で全部お話されておりますけども、要するに工事終わった平成25年、2013年なんですよ。それから20年持つと言ったら、2033年なんですよ。今からもう10年なんです。10年経って壊れると思いませんが、大丈夫だと思いますけども、ずいぶん時間がかかっているなということと、それからこういうお話するときに平成とかの言語ではなくて、西暦で話さないで、そもそも何年経ったの、合併が平成の初期って言うけど、今から何年前なのって言うのはそんな話できないですし、今かなりの自治体でも行政文書なんかは平成と和暦の定義です。そういうことを考慮していただかないと、平成5年が2007年ですかってすぐ分からないですから、分かりやすく説明するのはそういうことも大切だと思います。以上、あと何点かありますけれども以上にしております。

【市民32】

生まれも育ちも現在の生活もこの本宮の者です。40何年前、45〜46年ぐらい前だと思いますけど私のいとこから聞いた話です。当時市長が工藤さん。その方は岩さんと呼んでいましたが、その方から本宮に市役所を持って来るから協力してくれやって言われたと。それで三町歩を譲ることにした。それが盛南開発の始まりだった気がします。いろいろ変遷ありましたが、盛岡市では仙北西地区、盛岡駅西、そしてこの盛南地区、この3点の開発で、そこにある中央公園が何で中央と名前が付いたのかなと思ったら、その3点の中心だから中央公園だと聞き、なるほどなと思いました。いずれ、そういった経緯からこの古くから住み慣れた土地を譲ることに3割減歩に応

じて、いろんなどころに散っていった。この地区に新たに住まわれた人からよく耳にしたのは、ここに市役所が来るそうだ。だからここに住むことにした。県北の方や沿岸の方からもありました。そのような経緯があるので、やはり行政の一貫性からしても、大事にしていきたいなと思います。いろいろ言いたいことはありましたが、時間がないようですので、お願いします。

【市民 33】

皆さんとちょっと違うんですけど、建設地の場所ばかりなんですけれども、元々建物は建てるべきか建てないべきか、そこらへんからじゃないかなと思います。その上にいつまでに建てるのか、期限を決めてもらわないと、様々大変。あと誰のために建てるのか要するに住民のためなのか、子供たちのためなのか、そこら辺を決めてもらって建設してもらいたいなと思いました。それと一番問題なのが子供たちの話を聞いて、それから行動した方が、建設っていうのは多分10年、20年かかるんじゃないかなと思うんですよ。決まるまでに。そうなると考え方も方向性も変わるんじゃないかなと思いましたので、そこらへんよろしくをお願いします。

【市民 34】

皆さんにすっかり圧倒されてしまっておりますが、これに関しましては、目安箱の方で対応していきたいと考えております。もう一つ、お祭りのことですが、さんさ踊りが大好きですが、両側にある提灯、あれがどうも少し小さすぎるんじゃないかなと毎回思うんです。それで、今年からも一回り大きいのに替えていただいて、県外等から来る皆さんに対しても、もう少し迫力のある、今でも迫力は十分あるんですけども、さらに迫力のあるさんさ踊りにしてもらいたいなと考えております。今日の議題と変わるかもしれませんが、よろしくお願ひしたいと思ひます。先ほど申し上げました通り、これに関しましては市長さんの目安箱で対応していきたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

【市民 35】

私は町内会の役員もやっています。会議の後に必ず会議に集まった方に意見を聞いてきました。詳しくは喋りませんが、大体8割の方は本宮地区、2割の方は内丸、駅西のエリア。何故かという、歳をとった方は、合併協定のことを打ち出します。2割の若い人たちは、本宮がこんなに賑やかになっていいのか。今イオン渋滞が始まっております。市役所が来ればもっと渋滞が始まると思います。そういう場所で、この本宮地区は住みやすい場所だという意見があって、これ以上来られても困るっていう若い人たちの意見です。8割2割で別れております。それで今回エリアを3つに分けたのはいいのですが、もう少し具体的な基本設計を3か所でやってもらいたいんです。どういう金の動き、土地の買収、それも含めてですね、例えば本宮エリアですと先ほど話したとおり市立病院の北側。今サンデーがあります。そこのエリアを買った場合にいくらかかるか、どういう土地の形状で、どういう基本設計ですね。内丸の問題です。医大の跡地、いくらかかりですか、買えば。壊さなければいけない。そういうときに作った基本設計をやっぱり示してもらいたい。駅西が一番いいんですよ。マリオスに市役所を建てれば。平面駐車場もありま

す。そういう意味からいって、いろんな意見がまだあると思いますけども、私は本官の皆さんの意見を聞いて今日発表させていただきました。

【司会】

いったん失礼いたします。市長が次の用務がありますので。大変失礼いたします。市長から御挨拶を申し上げます。

【内館市長】

皆さんありがとうございました。どうしてもマリオスで大きい会があり、御挨拶があるので退席します。今日は本当にありがとうございました。まずはマイクをお一人お一人、みんなびっくりしたと思いますし、勇気を出して発言をしていただきましたこと、そのことに本当に感謝しています。あとは、私も含め結構聞くのは怖いものですね。職員さんなんかは、積み重ねてきて、今日もどんな御意見が出るんだろうとドキドキしてきました。だけど、皆さんからたくさんの御意見を聞いて、いろんなアイデアがまた浮かびました。まずは本当に今日は来ていただいて、そして勇気を出してマイクを握っていただいたことに心から感謝をいたします。本当にありがとうございました。機会があれば、地域懇談会その他機会があればぜひお集まりください。ありがとうございました。

【司会】

ありがとうございます。お話を途中で遮る形になってしまった方もいらっしゃると思います。大変失礼いたしました。時間は過ぎておりますが、せっかくの機会ですので12時半くらいまではこちら会場を使えますので、御意見御質問を頂戴したいと思います。お時間過ぎておりますので、お帰りになる方は遠慮なさらずに結構ですので、ここからは、手の挙げた順番にあてさせていただきます。

【市民 36】

一人一人マイクを持って喋ってくれてありがとうって市長が話していたけどさ、そういう話じゃないですよ。まず本題に入りますけどね、1501名の地権者があって、さっきも言ったように、市役所移転絡めて官公庁用地ということで、URの売却益も含めまして3割さらに減歩ということで、随分みんな歩き、さらに出してもらった。1501名の地権者に対してそういう説明をしながら、将来的には市役所が来る、そういうことで盛南開発は成功してきた。それが交通の便が悪いとか言うのは違うでしょ。中央公園の広さを利用すると話もあった。当時考えた盛岡の発展はどうあるべきかというのは基本にあるでしょう。どう思っているか、そこを聞きたい。総務部長さんも昔から顔も知っていますけれど。そういうことでずっと議論してきた。結果的に高いから買わない、おかしいですよ。盛岡市の基本方針はどこにあるか、逆に私は聞きたい。今になって丸投げして、他人事みたいにどこがいいでしょうかと、それはどうなんですか。最後の5年間審議会の会長もやりました。そんなこんなやりながらですね。

【市民 37】

都南村との合併も反故にされ、今回この3つのうちの必ず1つにはなる。ただ、僕ら期待して過去から盛南、中央公園、農水法もあり、鹿妻穴堰の使える事業のエリアであるのがここです。発展するためには、70年以上も昔だけど、いまだかつて継続している。農業振興法においては昭和40年にできた法律を今もずっと繋がっている。いろんな法律を守らなければならない、それをクリアして前に進まなければならないことが、法律の網があるからうまく進まない。今日は課長の斎藤さんがいらっしゃいますけども、見直しもかけてやっていただくと。前に進むため。みんなちょっと熱くなりながら話している、その一人ですけれども。そこを踏まえた市役所の対応もこれじゃ、失礼ですけれども、毎年天から降ってくるものがあるわけですよ。

【市民 38】

先ほどのお話の中で県庁の近くがよいという人がいましたけども、市の先輩たちは盛南地域に合同庁舎を移転すると。当時大蔵省と移転協議を始めたんですよ。当時ですね。途中でやめたんでしょうけどもね。税務署も盛南地区に行くと。広大な構想で進めてきたわけです。それで市役所が来るってということで地権者には市役所を置くって話のもとに全面的に協力をお願いするということが本宮地区の人は先祖伝来の田畑を手放して、泣く泣く土地を手放して、仕方がないから雫石の方に田んぼを買っている人がたくさんいるんです。ところが田を買ったはいいけれど、今度は離れているから、自分はもう年を取って農作業ができないと。手放さなければよかった、市役所も来ないと今頃また振り出しに戻るのであれば、俺たちは何のために先祖代々の土地を手放したんだ。市役所は嘘つきじゃないかって、非常憤りが強いです。これはやっぱり行政とね、やっぱり市民の信頼関係はやっぱり大事ですね。これが失われたら役所はなんだと、誰も信用しませんよ。これからいろんな話を持ちかけても、それをぜひ経過を知らない今の若い人たちに、市の職員の皆さんにも、ぜひその辺は理解していただきたいと、私は切にお願いします。

【市民 39】

今日の資料の確認ですけども、パワーポイントで13ページ、内丸エリアの意見がございましてけれども、この中で課題等ですね、現地建替の場合はと言っていますが、現地建替、現庁舎を壊して建て替える場合と、先程の意見で医大を壊して建てるという話も出ましたけれど、市役所の考え方は、現市役所を取り壊して、そこに新しいのを造るという考えですかね。それとも内丸付近で若干空き地がありますけれども、用地買収を考えているのか。それで考えたのは現庁舎を壊してそこに建てるという考えでよろしいですかね。

【遠藤室長】

それに関しては、今年の2月に有識者会議からの移転新築が望ましいと御意見をいただいておりますので、それをベースには考えております。あくまでも建て替える場合にはこういった課題があるというような形の整理というところで認識いただければと思います。

【市民 39】

医大を取り壊してという意見も出ましたけども、それはありえないってことでよろしいで

すね。

【遠藤室長】

ありえないということではなくて、様々な可能性の一つではあるということ。

【市民 39】

そういう案も一つの選択技っていうことでよろしいんですか。

【遠藤室長】

そうですね。ただ医大側の意向もありますので、そういったところを調整していく必要がある。そういった様々な条件の中でどういうふうに整理していくかという話だと思います。

【市民 39】

分かりました。

【市民 40】

今のお話、資料があるんですけど、内丸エリアだと大体 200 億かかるそうなんです。盛南だと 188.3 億です。一番安いんですよ。現庁舎を壊すと 20.5 億かかるんですね。新しいところ、それこそ今のメディカルセンター、内丸の用地を取得すると 24.6 億かかるんですね。お金のことだけ考えれば盛南エリアが一番安い、アクセスがどうというのは、それはもうどうにでもなる話だから、私は盛南エリアが一番よいと思います。なぜかと言うと、一番お金がかからないから。いつも財政難、財政難なんてみんな言うんですよ。市の方たちは。誰もみんな金がない金がないって何か頼んでもやっぱり盛南ですからってみんな言うんですよ。市長だって 3160 万。退職金。彼は公約だって言っていましたけれど、結局後付けでね、財政難だから 3160 万をもらわないと話しましたよ。であるならば、一番お金のかからない方向にするのが一番いいじゃないですか。給食費無償化は 12 億かかるんですよ。それをやるそうですよ。子供に給付金を出すそうですよ。それに金を使って財政難、財政難、おかしいですよ。私は都南村との約束も踏まえて、盛南エリアが一番いいと私は思います。以上です。

【市民 41】

ちょっと不勉強で申し訳ないんですけども、今お金の話で 200 億っていう数字が出ましたけれども、これって今あるお金を使う、それとも借金するんですか。

【遠藤室長】

市の方では新市庁舎の整備の基金というものを積立はしておりますけれども、ただ金額的にはまだ 4 年度末で 26 億円ほどしかありませんので、不足分については起債という形で、いわゆる借金部分になるんですけども、そういったもので借りて返済をしていくという方法。あるいは先ほどちょっとお話が出たのですが、様々な補助金を活用できるのは当然活用していくということも考えていかなければならない。また跡地利用であるとか先ほどの市としての歳入を得る方法も考えていかなきゃならないということで、こちらも様々な組み合わせていくことを今想定しております。

【市民 41】

分かりました。ということは、この私達の税金の中で返していくってことでしょうか。それは私達の代で返せるお金ですか。

【遠藤室長】

先ほど言った起債に関しては25年間という形での一応返済計画を立てることは可能です。もちろん必ず25年というわけではなく、様々な条件がありますので、そこらへんをクリアしていかなければならないという部分があります。ただいずれ、かなり長い期間でお支払いをしていく必要性は多分出てくるだろうと。

【市民 41】

私達の子供や孫の世代にも及ぶってことですか。

【遠藤室長】

そのとおりです。

【市民 41】

はい。ということをお聞きしましたよね。どこがよいとかいろいろ言っていますが、子供や孫に迷惑をかける、そこを考えましょうよ。お金のことは関係ないって言っていますが、子供や孫に押し付けるんですよ。ろくでもない年寄りと言われますよ。

【市民 42】

私、谷藤前市長の関係の人からちょっとお聞きしたんですけど、医大の後にはもう無理じゃないの、駐車場も無いしって言ったら、谷藤市長は医大はもう市役所で買えないよと。だから、谷藤前市長が言っているのは県庁の前の話だよと言ってたけど、そういう話は聞いてたわけですか。

【佐藤総務部長】

聞いてはおりません。

【市民 42】

何かそういうことで審議会の人たちともやっているんじゃないかと、そこはできれば私も盛南地区がいいんじゃないかなと思うんですけど。ぜひ、この説明会での意見を収集して、ただ説明会をやったという実績だけじゃなくて、ゴミ処理場の件もあったんですけども、住民の意見も反映されないで市役所の方で決定してしまったんですけども、600台のゴミ収集車が毎日イオンのところに入って行く。あと沖縄の普天間も、もう国で決めると住民の意見を無視している。ただやったという実績だけにならないよう、ぜひお願いしたいと思います。

【市民 43】

市長さんはこの後にマリオスに行くような話をしましたけれども、ああいう高層ビルですか。ああいうところに入るとうまく機能しないというか、もう大変な災害をもたらすと。ロンドンの大火災、リスボンの地震とシカゴの大火事、秋田市内の、避難誘導を考えてほしい。高ければよいというわけではない。職員が亡くなっているわけですよね。これ誰の責任なんだってこういう

ことを考えないと。デジタル化すると人口は減らないと言っていますけども、デジタル化しても人口が増えるわけじゃないですよ。ですからあのシリコンバレーみたいなアウトバーンの何かがあれば、そういった街が結構増えてるわけですよ。そういった大きなリスクを考えて、市役所を造っていただきたい。私は今日のスライド説明は非常に苦勞して作ったと思いますよ。本当に御苦勞様でした。

【市民 44】

ちょっと何点かあるんですけども、前回のテレビニュースで女性の方も言っていましたけども、そもそもの計画っていうのは、時間は、どういう計画なんだっていうのが示されないのは非常に疑問だとおっしゃっていましたけども、たしかにそのとおりで。今後の流れの中で、そもそもこの基本構想の案を審議会で答申するのはいつ提出されるんですか。前回の審議会のときには令和6年の4月以降というふうに書いていますけれども、そもそも、いつって審議会の会長さんにお伝えしているんでしょうか。そこから始めないと、いつになったらこの話が、基本構想は答申されて、市の方で整理してパブコメをやって、それで決まるっていうことになると、いつを想定しているんでしょうか。さっきも申し上げましたけれども、耐震補強して云々って言っても、一応理論上は20年ぐらいは持つということであれば、2033年なんですよ。さほど時間はないんですよ。もし万が一エリアを決めても場所を決めるとなると、また一悶着あるだろうし、場所が確定しても、用地交渉ってそんな簡単にはいかないだろうし、それから基本計画、詳細設計、地質調査とか考えると、10年であつという間なんですよ。少なくとも今の構想だとかパブコメだとか、エリア決定まで少なくともどれぐらいの時間を見込んでいらっしゃるのかっていうのは疑問です。あと、審議会の聞いていても、ほとんど話が出てきませんけれども内丸プランというのを今盛岡市が主導でやるっていうふうにされていますけども、様々な企業が民間企業も入っていますけども、まず内丸プランありき。それから中心市街地活性化計画も何回か作り直しています。それから土地利用の適正化云々という計画もあつたり総合計画もあつたり、様々な上位計画がある中で、市役所は単体、一つの話ですよ。どこに造るかというのではなく、そういうまちづくりの観点から整理して、ここになりますというふうにお話されないと、どこに造るかじゃなくて、盛岡市の将来をどう考えているか、そういう視点が審議会にも市役所の担当者にも欠けているんじゃないか。そういう言葉が出てこないってこと自体が。都市計画の担当者もいらっしゃるようだけでも、順番が違うんじゃないですかと思います。

あと、財政については審議会の方は、あの起債の償還が25年でOKだとか、そういう金を使えばどういう起債で地方交付税がどれだけ補填されるとか、ほとんど分からない人ばかりだから、市役所がどういう金を使えば、自分らの負担が一番少なくなるかというのは、市役所がきちんとした財政計画を示してあげないと、財政を議論なんて審議会ですら100%できませんから。そのへんはよく考えて。市役所の役割と審議会の役割は全然別物ですから、そのへんはきちんと行政という立場で考えて進めていただきたいと思います。

こういうものはきちんと記録に残して、みんなが目に見えるようにしないと。言うだけ言って、結局どうなったんだっていうのは、パブコメなんかもそうですけれども、言っても全部参考にしますと大体さらっと流されちゃうんで、結局どういうふうに反映されるのかなという自分たちの計画、考えを変えるつもりないんだろうなって思うのがパブコメの実態ですから、そのへんはきちんと。これは大きな問題だから、この説明会を何回もやるんでしょうから。そういうふうな認識はおありでしょうから、それはどういうバッシングがあるにしても市役所として毅然として、こういうことで判断しましたというのをいつか言う時期が来ると思いますので、覚悟をもって進めていただきたいと思います。あと、ここでやれば盛南地区の話が出るでしょうし、玉山でやれば玉山なりの意見が出てくるし、街の真ん中であれば街の真ん中での意見が出てくるでしょう。それはやっぱり市役所が約束事の責任ということもありますけども、腹をくくって、きちんと理解というか説明を尽くすことが必要じゃないかと思います。以上です。

【市民 45】

1 回目の発言が長くなりましてお詫びしたいと思います。さっきもちよつと言いましたが、説明会をやれば逆に住民間の分断と対立が深まっていかないかなと思います。それぞれ自分の主張する盛南か内丸か西口かっていうことですね。なぜそうなるかといえば、スケジュールの話もありましたけど財源の話はないし、そして市の公共施設全体の将来の維持管理計画がどうなっているのか。3か所どこを選んででも財源的に対応可能なんですか。それを検証しているんですか。人口はどんどん減っていますよね。救急車走り回っていますよ、市役所に聞くと去年の11月12月、亡くなっている方20%から25%増えているっていう、直接聞きました。日本全体でコロナのワクチンが始まってから40万以上多く亡くなっているっていうのは出ています。市の将来人口推計だって全然甘すぎる。26万人とかなんて。もう既に下回っていませんか。そういう全体像を全然示さないで、いきなりどこがいいですかっという聞き方をすれば、いきなり綱引きが始まるのは当然ですよ。ですから、全体像を示してください。本当に盛岡市の財政が持続可能なのか、という将来の見通しもないままに、こんな話をするべきじゃない。誰だって住宅ローンを借りるときだって考えますね。

それから二つ目ですけど、盛南の方は分からなくて恐縮なんですけれども、盛南を最適地とすると合併協定書に書いて、なぜ盛南に土地を確保してこなかったんですか。あの野球場ができたところって盛南地区ですか。盛南地区ではない。本当に最適地として考えているんだったら当然市は最初から盛南地区に用地を残しておいたんじゃないんですか。全部保留地も何も売って全部売ってから今度市役所を検討します。はい盛南は土地はありません。建てるなら新しく買います。建物は移転補償ならもっと高くなりますよね、更地で買うより。盛岡市はずっと盛南の人を騙してきたのかなと思います。そういったことをちゃんと説明しないと、どんどん迷走して対立してまとまらなくなるだけだと思います。将来人口が減ればバス路線が維持できなくなるんですよ。公共施設の維持ができなくなる、道路補修もできなくなる。どんどんどんどん増税しなきゃいけ

なくなる。国、県の税金も上がってどうやって対応していくんですか。将来の見通しが甘すぎると思います。新聞テレビで出ていない情報がすごくあるんですよ。表の情報だけで作れば絶対間違えますよ。だから全体像を示してください。全体像を示さなければ絶対失敗します。綱引きして喧嘩して、住民投票やりますか。市長にお伝えいただきたいと思います。

【佐藤総務部長】

大変ありがとうございました。今までの意見に対して、今日の説明会は皆おっしゃるとおり、なかなか市民の皆様への説明が足りないんじゃないかという御意見もいただいて、今日もたくさん意見が出ました。都南村との合併の話、それから盛南開発の話、玉山との合併の過去の経緯も市の方からそれぞれの住民の皆さんに対する説明、特に合併や盛南開発とかも含めての経緯の説明も不十分だという意見もあってですね、今回開いたところで。今日の説明会はこれまでの過去の経過の説明と、それから今の検討状況の説明ということに止まった部分でございますけれども、今日非常にいろんな大切な意見をいただきました。私は都南の合併のときも、盛南開発は直接携わってはいないんですけれども、合併で携わり、盛南開発についても十分に承知しております、あと、この地区のいわゆる当時の主要行政用地の取得を今日の資料の一部ではありましたが平成19年には行政用地について、取得を見送ったという経緯についても十分に把握しております。そのあたりも市の職員の方にも御意見出ましたので、市の職員あるいは特に市庁舎関係、都市計画を検討している部署の方には、これまでの過去の経緯を十分に踏まえた上で、今後検討していきましようとかこれまでも喋っておりますし、今日いろんな御意見が出ましたので、これからも、過去の経緯を十分に踏まえて、先のことも検討していききたいと思います。

それからエリアの面で、たくさん御意見をいただきました。整備につきましては先ほど説明ありましたが、今、整備審議会の方に検討いただいておりますけれども、今日も示した資料の中でいくつかの比較評価項目、例えばまちづくりとか、防災とか、交通アクセスとか、そういった比較評価項目で各エリアを比較評価していくということにしておりますので、その中で当然過去の経緯も踏まえて、あと将来のことも踏まえて、これからもどんどん内部でも審議会の方でも検討していききたいと思っております。

あとは当然財源も極めて重要な話です。理想系の建物を描いても、先立つものがなければできませんし、あと非常に大事な御意見をいただいたのは将来の負担。いわゆる遠藤室長が申しました、ほぼ借金をしなければいけない現状がありましたので、それは10年ではなくて20年、25年のスパンで返していかなければならないので、将来世代の負担ということも十分に考えて規模とか場所も含めて決めていかなければいけない。それから災害対応も非常に重要だと思っておりますので、そういった財源とか過去の経緯とか災害だとか、まちづくりとか、そういったいろんな視点でエリアだけではなくて、どんな庁舎がいいのかということも含めて今後検討したいと思っております。今日は2回目の説明会で、あと2回ほど説明会がありますけれども、皆さんの意見を踏まえて今後検討したいと思っております。

いつまでという話でございますが、これは非常にこちらも今の庁舎がいつまで使えて、ここま
では新しい庁舎を造らなければならないというのは、もっともな話で、それについては決めて
いかなければと思っておりますけども、今のお話できるのが、平成 22 年から 25 年頃に本庁舎耐
震工事をやって、そこで対応年数は 20 年延ばすということなので、引くともう 10 年前にやって
ますから、あと耐用年数は 10 年ぐらいです。ただ難しいのは耐用年数が切れたから直ちに使えな
いかというところでもないというものの、設備もだんだん古くなっていきますということを検討
しております。いつまでというスケジュールがないと、いつまでも結論が出ませんので、今日
は具体的なお話できなくて申し訳ないんですけども、いつまでというゴールをきちんと決め
て、逆算してスケジュールを組んで検討していきたいと思っております。総括的な話で申し訳あ
りませんけれども、皆さんの意見を踏まえて今後検討していきたいと思っておりますので、よろ
しくお願ひしたいと思ひます。

【市民 46】

基本構想はいつぐらいですか。

【佐藤総務部長】

基本構想は、今話した 6 年度以降ということだけです。当初は今年、令和 5 年の 11 月には答申
いただくということで公表しておりましたけれども、市民の皆さんの意見も聞く必要がある、そ
の他いろんな庁内からも意見がありまして、今お話できるのは基本構想の策定は 6 年度というこ
とになると思ひます。答申が 6 年度となりますので、その答申が 6 年のいつかというのは、これ
からの審議会の方にお諮りをして、今後の検討を進めながらお示しをしていきたいと思ひます。
すいません、何年何月ということは今お話できない状況です。ただ繰り返しますが、いつまでに
というのをきちんと見据えた上で、逆算してあの土地を買ってから何年かかるかは大体分かりま
すので検討していきたいと思ひます。よろしいでしょうか。最後時間超過で御予定もあつた
と思ひますけれども、もし皆さんから何かあれば。

【市民 47】

明日の都南もこんな感じですか。

【佐藤総務部長】

明日はいらっしゃる人数にもよるかと思ひますけれども、今日の説明は御意見もあつて短めに
しましたので、そのへんをちょっと様子を見てですけど。

【市民 48】

意見を反映させるとかですとね、しゃべったら答えなきやないでしょ。喋りっぱなしで。何の
ために行う説明会かですとね。

【佐藤総務部長】

あと 2 回、明日は都南庁舎、来週は玉山でやりますけれども、今日の状況を見ながら、来てい
ただける人数を踏まえながら説明の仕方やスライドにかかる時間も工夫したいと思ひます。

【市民 48】

経緯があって結果が出ていないゼロからのスタートという話をされてもね。

【市民 49】

これ、説明会とおっしゃっておりますけれども、報告会ですよ。これまでの経緯ですよ。みんなの意見は聞いたが、市の考えを直接お聞きしたい。市長も満足して帰ったと思うけれど、そうじゃないんですよ。市が何を考えているのかを聞きたいから、みんな時間を作って集まっているんで、そのへんは報告と意見交換会をごっちゃにしないで整理した上で対応しないと。我々は言いつばなしで結局どうなったんだろうね、みたいになったら駄目なんですよ。そのへんは進め方もきちんと考えていただきたい。あと審議会の進行について、毎回同じようなことを延々とお話しても、ほとんど有識者等懇話会で提案したようなことを振り返るような。少なくとも評価項目や具体的な話が前に進んでいるとはとても思わない。

【佐藤総務部長】

今回本宮地区の説明ということもあって、広く市の方では意見も聞きたいということもありました。ありがとうございます。よろしいでしょうか。皆さんもご都合もあるかと思しますので。

【市民 50】

同じ方が4回説明会に出て、内丸、内丸、盛南というのは許されているんですか。

【佐藤総務部長】

エリアについては市民の皆様も一番関心あることだと思います。エリアで制限されることもありますけれども、新しい市役所に何を市民の皆さん、あるいは我々行政も持たせるかっていうあたりを議論しながら進めていきたいと思っています。

【市民 51】

次の説明会では、ちゃんと3か所を比較検討して、どんな基準で新市庁舎の位置をやるのか基準を明確にして、評価して、そういうものを示さないと同じ話の繰り返しになる。

【佐藤総務部長】

パブリックコメント、真っ先にパブコメの御意見が出ましたけども、なかなか具体的な案、皆様の御意見がないと。今日はあくまで報告です。次の段階ではある程度方針というか、基本構想案ができた段階で皆さんの方にパブコメなのか、別の形なのか、お示しをして、ということになるかと思っています。

【市民 52】

見切り発車にならないように。

【佐藤総務部長】

御意見として、ありがとうございます。

【司会】

みなさん長時間にわたりお付き合いいただきましてありがとうございました。以上で市民説明

会を終了させていただきます。ありがとうございました。